

令和4年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立桜小学校
実施日	令和5年2月16日

○評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

・「改善策として考えられること等」の欄には、それぞれの質問項目に関して、その改善策として考えられること等があれば記述します。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
目指す学校像	1	学校は、児童にとって通いたい学校となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 本校の児童は学校が好きの子が多いと感じている。 それぞれの教員が連携して児童に関わることができていて、課題が解消してきている児童もいる。 多くの児童は学校で楽しく過ごせていると思う。学習がわからない、何をしたらよいかわからない等の不安をもつ児童もいると考えられる。あきらめずに寄り添う支援が必要である。 落ち着いた学校生活を送ることができるよう、桜小のやくそくを継続して浸透させていく必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートで「子どもが学校が楽しいと言っているとの評価(A及びB)が90%以上あることが評価できる。 授業参観などで学校の様子を見ると、児童たちは楽しいそうに過ごしていた。授業も落ち着いて行われていると感じた。 大体の子供は元気に登校しているが、いつもグループに遅れて元気がなくトボトボ歩いて行く児童もいる。
	2	学校は、保護者・地域にとって通わせた学校となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学年便りなどを活用しながら、学校生活の様子をまめに発信し、情報を共有している。また、マメールを活用して、学校からよく情報発信している。 保護者の思いに寄り添って対応できるよう、限られた「時間」「人員」の中で、できることは精一杯やっている。 地域とのかかわりが1～4年生までは、生活科や総合の授業を通じてできている。5、6年生が1回でも地域と関わることがあるとよい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより、学年だより、連絡ノート、マメール等の活用でのコミュニケーションが評価できる。 学校だよりやメールで学校の様子が伝わってきている。保護者とのコミュニケーションは面談などの機会にとれると思う。 親が働いている家庭の子供達はあまり熱心に育てられていない子供もいるように感じる。朝、学校に送り出す時、しっかり子供の様子を見てから家を出てほしい。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っているか。(共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員が多いため、協力体制は得やすかった。今年度より副担任制を設け、仕事を分担しながら取り組む様子がある。 会議は最小限に設定されている。放課後の勤務時間など、保護者への理解を進められると尚よい。 留守電など効果的だとは思っている。一方で児童が早く登校しすぎる。7:45に教室にいることがある。 一部教員に負担が大きいと思う。仕事にやや偏りがあり、負担となっている教員もいる。 勤務時間外に勤務せざるをえないことがある。また、自分や家族の時間を犠牲にして、学校・子どもたちのためにたくさん時間を費やしている教員も多い。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 会議の最小限の設定は評価できる。 自分や家族の時間を犠牲にして働いている教員がいることは改善が必要である。 全国的に教員の方々の長時間労働が問題となっている。引き続き、教員の皆様の負担が少しでも減るよう対応をお願いしたい。 先生方には、体験学習、学校行事等学校内外で忙しい時など、時間の使い方を工夫し、働きすぎ、がんばりすぎに注意してもらいたい。 夜遅くまで残っている先生は減ったが、朝早く出勤されている方がいるのではないかと。7:40に登校してくるグループもある。
	4	学校は、教職員にとって働きたい職場となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 「チーム桜」をスローガンにかかげ、互いに声をかけ合いながら仕事に取り組んだり、互いに情報交換し合っている。 教員間の人間関係が良く、協力し合う体制ができている。 教員それぞれが使命感をもって業務にあたっている。 困難な対応があると、情熱や意欲がなくなるように感じることがある。 分掌は適切で協力して取り組んでいるが、反省点が改善されないこともあるので、ある程度の改善案をつくったうえで、次年度に申し送るとよい。 研修は一人1授業でなくてもよい気がする。役割分担をして効率的に行いたい。また、参加したい研修に参加出来ないことがある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教師間の人間関係が良く、協力体制も確立していることは評価できる。 チーム桜でお互いに声かけをしての仕事への取り組みや情報交換が評価できる。 先生方の努力を感じ、感謝しています。桜小学校の先生方は子どもたちが大好きなんだと感じます。 働く時は人間関係が一番大事な事だと思います。教師間でコミュニケーションを取り、チームワーク良く子供たちを指導してください。
教育課程・学習	5	学校は、学力向上に向け、児童にわかりやすく、工夫した授業をしているか。(市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> コの字型やペア、グループ学習を意図的に盛り込み、学び合いの質を高めようと努力している教員が多い。 国語や算数の少人数指導に力を入れ、つまづきや進捗を考えながら指導を行うなどの工夫を行っている。 熱心な教材研究をもとに授業が行われている。 コロナでできなかったことを今後、学び合いの授業等、質を高めたい。 特別支援学級では、異年齢集団でも協力して課題に取り組む姿が見られる。 学び合いの学習などに積極的に取り組んでいた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習、ペア学習等の少人数学習での学力向上の取り組みが評価できる。 授業の様子を参観すると、各学年ごとに授業の取り組み方が工夫されていた。子どもたちが楽しそうに授業を受けていたのが印象的だった。 小グループに分かれての授業の進め方は理解力の向上につながり良い方法だと思う。集中して授業に参加している子とそうでない子がいるようだ。 コロナも納まり始めたので、以前の様な「学び合い」の形になると良いと思う。
	6	学校は、豊かな心を育む教育の充実を図っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育主任を中心に人権週間を意識させるような取り組みや、いじめに対して毅然とした指導が十分に行われている。 朝読書の時間を設けるだけでなく、児童も積極的に本の森や図書室の利活用をしている。 様々な外部指導の方とつながって、多様な学びが図られている。 総合などで体験活動と多く取り組むことができたと考えられる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめに対しての毅然とした指導、朝読書時間の設定及び体験活動の多くの取り組みが評価できる。 学校の様子を見ると、子どもたちが礼儀正しい振る舞いができている。相手のことを考えることができる思いやりを大切にできる教育をお願いしたい。 児童同士ゲームでのつながりが多いように感じる。あまりゲーム的な事に時間を多く取る事がないように工夫する必要があると考える。
	7	児童は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいるか。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや言葉遣いの指導に関しては、教員自身の言葉遣いの改善を行う。特に進んでのあいさつと言葉遣いは、こちらが手本となるように努めたい。 挨拶、言葉遣い、忘れ物などの授業規律においてまだまだ十分に習慣化されていない児童もあり、継続的な指導が必要だと考える。 学校だけの力だけでは困難である部分があるので、家庭・地域とも連携して取り組みたい。 ノートを書かない児童がいる。ノートの大切さ、必要性が伝わらないことがある。指導の難しさを感じる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでも子どものあいさつ、言葉遣いが不十分との意見が多数あり、改善指導の必要ありと考える。 桜小の子どもたちはおとなしい感じがする。あいさつについては身近にいる人たちへのあいさつを進めてほしい。 自然に自分から進んであいさつが出来る子供がずいぶん増えてきたと思う。友達同士であいさつが自然に出来るつながりが増えていってほしい。 保護者の意見で「朝登校時あいさつをしない子供が多い」とあるが、あいさつは基本家庭の中で習慣づけるものであると思う。(幼少期から)長い期間で見ると目を合わせなかった子が小さな声で「おはよう」と言うようになってきている。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
	8	学校は、心身の健全な育成と体力向上を図っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から体力貯筋に取り組み、学校行事と関連させながら体力向上に努める学習活動を行っている。食育プログラムの内容も充実している。 ・教科横断的に多様で工夫された教育活動がされている。 ・(休み時間の)外遊びを良くしていると思う。 ・特別支援学級では、ランタイムや外遊びで、子どもたちとともに体を動かしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃からの体力貯筋と学校行事と関連させながらの体力向上に努めていることが評価できる。 ○食育プログラムの充実も評価できる。 ○体力貯金の取り組みは良いと思う。運動が苦手な子も少しずつ取り組むことができると思う。 ○持久走大会では、みんな頑張って走っていたと思う。児童一人一人が各々の目標を決めて参加している様が良いと思った。
	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下もユニバーサルデザインを意識したものとなり、環境整備に工夫がある。 ・特別支援学級と通常学級の交流の授業時数も十分確保されている。 ・コーディネーター中心に特別支援学級と通常級の連携が取れている。 ・特別な支援でなく、すべてが必要な支援。「特別」という認識を変える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級と通常学級の交流が評価できる。 ・教室や廊下のユニバーサルデザインが評価できる。 ・桜小は特別支援教育に力を入れていることを感じる。特別支援学級と通常学級との交流を推進してほしい。 ・特別支援学級の人数が増えて先生もいろいろ大変だと思うが対応よくされていると思う。 ・支援級も増え、そこに携わる職員も増えたと思うが、特に発達障害のある児童に対して個々に合った教育ができてきているのだろうか。疑問がある。
教職員	10	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事の根絶のために意欲的に取り組んでいるか。(市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「チーム桜」をスローガンにかかげてそれぞれ職員がお互いに声をかけ合いながらよりよい職場の雰囲気づくりに努めている。 ・倫理確立委員会を定期的開催できていることがとても大切で良いことである。 ・事例を挙げて不祥事根絶に取り組んでいる。 ・相談しやすい環境があることが良いと考える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な倫理確立委員会の開催が評価できる。 ・子どもたちは先生方が大好きな様子がうかがえる。 ・教職員間の連携も良い様に感じる。
学習環境	11	学校は、環境美化に努め、温かさや潤いのある学ぶ環境づくりを組織的に進めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に見える掲示物の貼替やはがれた掲示物を直している姿が見てとれる。 ・言葉遣いの指導はまだまだ徹底されていない部分があるので、その都度継続的にやっていくことが必要だと考える。 ・掲示物が充実されている。 ・昇降口の水槽があった場所を有効かつ明るい入口になるように工夫している。 ・言語環境をより整えていく。 ・学校がきれいで生活がしやすい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物の充実及び掲示物の貼替、はがれ直しの行動が評価できる。 ・とても整理されていると感じる。掲示物も見やすく工夫されている。 ・子どもたちも清掃がんばっている姿が見られる。 ・展示物等も整理整頓されていて気持ち良い校内と感じる。 ・西門駐車場内に朝時々ゴミがある。
	12	学校は、安全で機能的な教育環境づくりを進めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分掌ごとに先生方が率先して環境整備を行っている姿が見てとれる。 ・安全教育主任を中心に安全点検がなされ、整備されている。 ・農園や花壇が常に生かされていてとてもよい。 ・定期的な安全点検を行っている。 ・特別教室にもエアコンが欲しい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育主任を中心にした、整備、定期的な安全点検が評価できる。 ・校内はよく整理されている。安全点検も実施いただいているとのことですので、今後も適正管理をお願いしたい。 ・校内も良く清掃されていて備品の散らかりなど見受けられず大変良好である。 ・支援級前の畑が昨年より荒れている。
家庭・地域との連携	13	学校は、開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っているか。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から学校運営協議会が開かれるなど、保護者や地域の方々の声を聞くように努める取り組みを行っている。 ・もう少し授業や学校行事の中で保護者や地域の方が参加できる工夫があるとよいと思う。 ・ホームページは活用の余地があるかもしれないが、地域との関係は大切にできている。 ・朝の登校時など見守り隊の方々の協力が、地域人材を活用していると考えられる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用及び学校だよりの定期的な配付等、開かれた学校づくりが評価できる。 ・ホームページや学校だよりで子どもたちの様子は伝わっている。防犯上の情報等はメールでの連絡がとどいている。 ・ホームページ等で学校の事が良くわかる。 ・メールでの通信が細かくされている。 ・(地域人材の活用については)コロナのため難しかった。
小中連携	14	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進しているか。(中学校区共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連絡会を行い、授業や児童の様子を見る機会や情報交換の場が設けられている。 ・定期的に小中連絡会や合同研修会が行われている。 ・特別支援学級では、小中交流会を計画的に実施している。 ・部活動や中学校での内容を早い段階から取り入れるとよいと考える。 ・中学校の定期テストに合わせて、スイッチオフの取り組みを進めてきた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な小中連絡会や合同研修会の実施が評価できる。 ・小中交流会の計画も評価できる。 ・小中一貫教育については学校教育において今後重要な課題になってくるものと考えられる。小さな取組を継続くださるようお願いしたい。 ・中学校との交流を増やして、情報の共有化を進めてほしい。各委員会での交流等…。